

第 1 章 全体構想

1-1 都市の現況

1. 概 況

平成 18 年 1 月 23 日に、八日市場市と野栄町が合併して「匝瑳市」となりました。

本市は、千葉県北東部に位置し、東京都心から約 70 km 圏内、千葉市から約 40 km、成田空港からは約 20 km の距離にあります。

市域は、北は香取市と香取郡多古町、東は旭市、西は山武郡横芝光町に接し、東西が約 12.5 km、南北が約 15 km で、総面積は約 101.78 km²です。

地勢は、南部に白砂青松の九十九里浜があり、市の主要部分は、平坦地で土地改良により整地された広大な田園地帯となっています。北部は下総台地の緩やかな丘陵地帯となっています。

主要な広域交通として、市の中心部に JR 総武本線と国道 126 号が丘陵部と平野部を分けるように東西に走り沿線に市街地が形成され、国道 296 号により成田空港を擁する成田方面との結びつきも強くなっています。今後さらに、銚子連絡道路の整備に伴い、新たな都市機能の立地が進むものと期待されています。

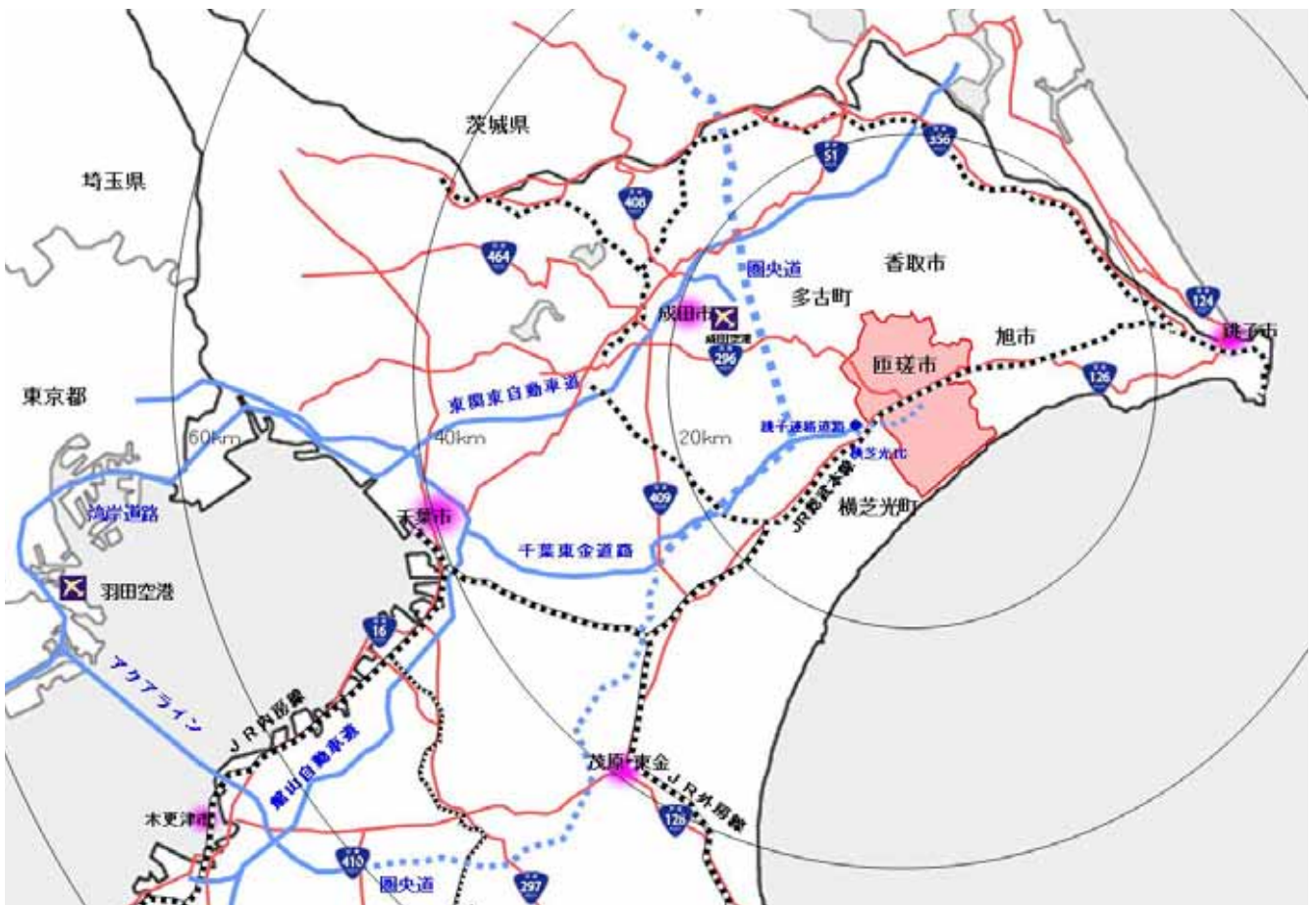
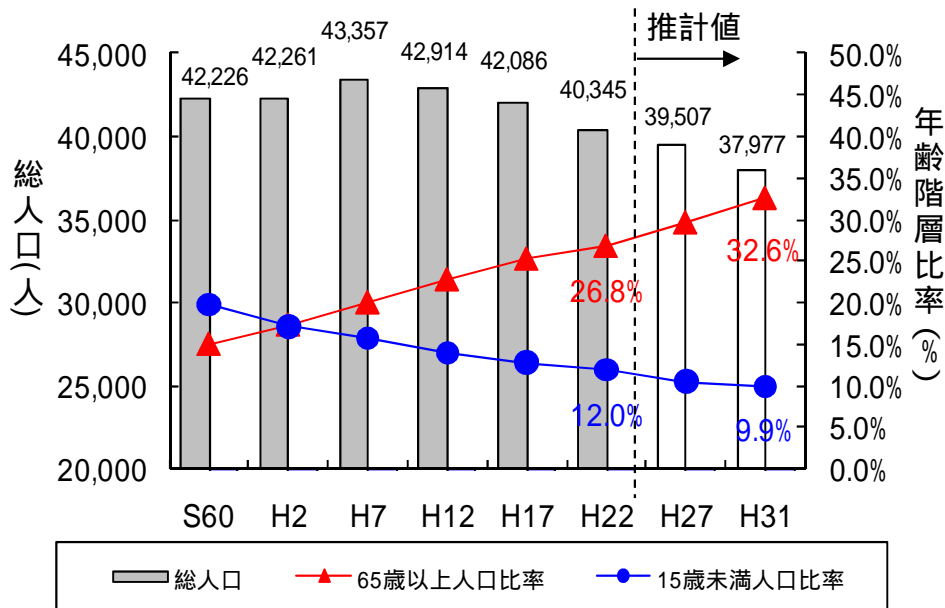


図 首都圏における匝瑳市の位置

2. 人口の動向

(1) 人口の推移

- ・平成22年3月末現在の住民基本台帳による人口は、40,345人となっています。
- ・近年、人口は年々減少を続けており、平成31年にはおよそ38,000人と予測しています。
- ・65歳以上の高齢化率は、平成22年現在26.8%（4人に1人）となっており、千葉県平均（20.7%）よりも高く、平成31年には32.6%（3人に1人）となる見通しです。
- ・また、15歳未満の年少人口は、平成22年現在12.0%（千葉県平均13.5%）から、平成31年には9.9%まで下がる見通しです。



資料：国勢調査、推計値は匝瑳市総合計画
H22の人口は住民基本台帳(3月末)による数値

図 総人口・年齢階層別構成比の推移

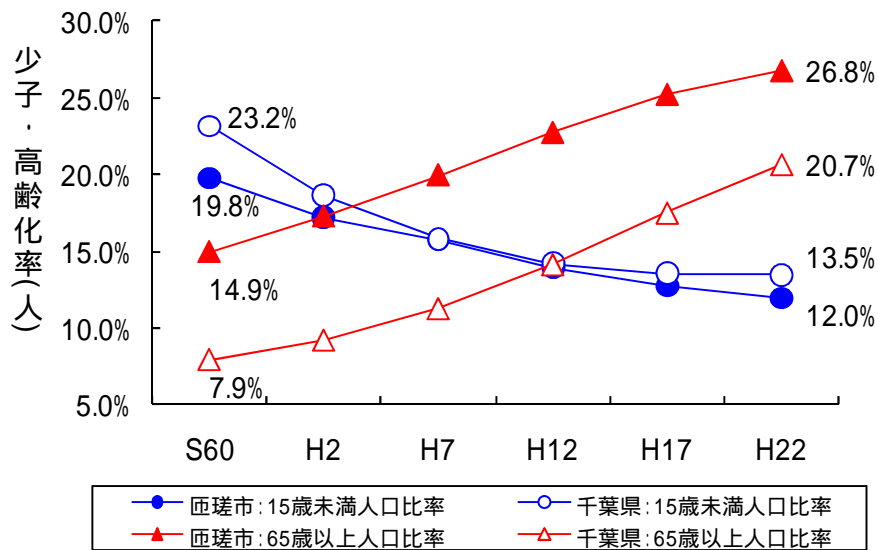
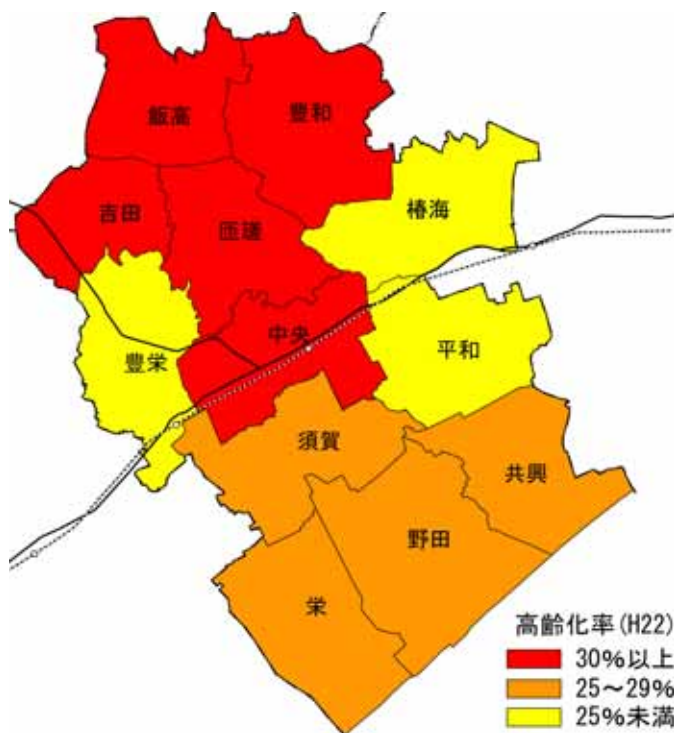


図 少子・高齢化率の県との比較

(2) 高齢化の状況及び人口増減率

地区別の高齢化

- ・高齢化率は、北部の吉田、豊和、匝瑳、飯高地区と中心部の中央地区で30%以上と高くなっています。



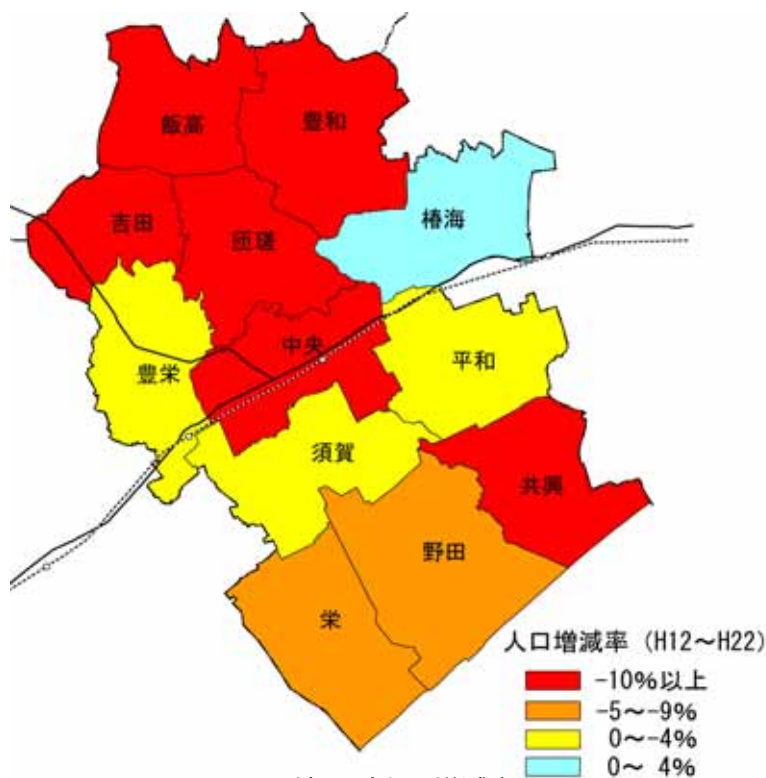
地区名	H22高齢化率
中央	30.4%
豊栄	20.6%
須賀	25.2%
匝瑳	31.6%
豊和	32.7%
吉田	33.4%
飯高	30.3%
共興	27.6%
平和	23.7%
椿海	22.7%
野田	27.4%
栄	26.2%
市全体計	26.8%

資料：H22 住民基本台帳

図 地区別高齢化率

地区別の人口増減

- ・過去10年間で人口減少率が特に高い地区(-10%以上)は、北部の豊和、飯高、匝瑳、吉田地区と南部の共興地区、中心部の中央地区となっています。



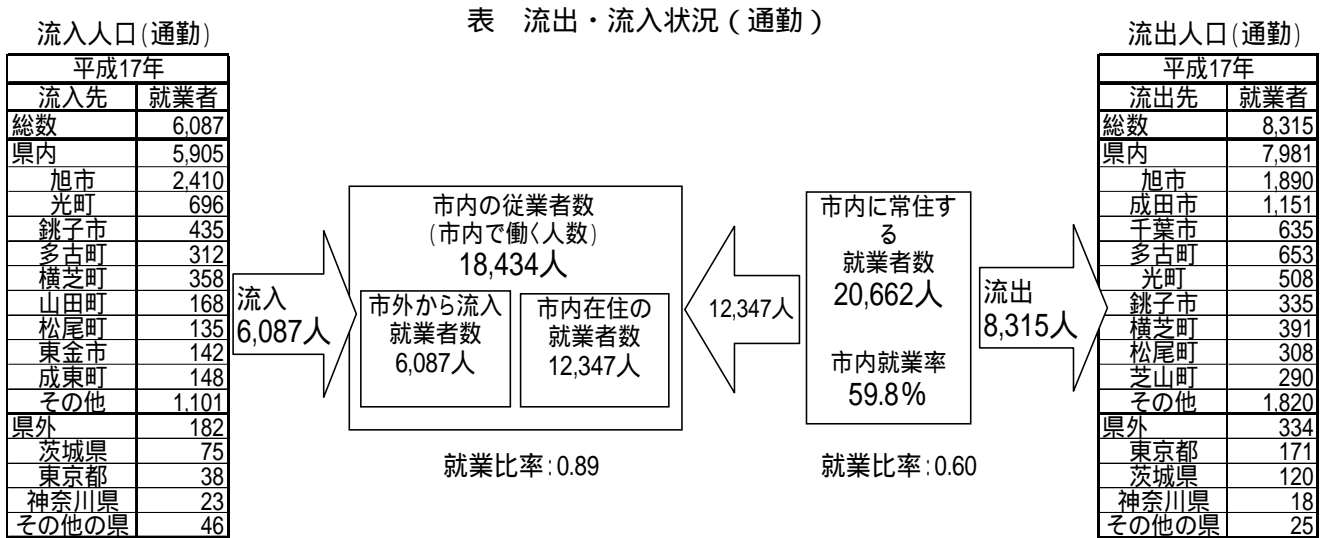
地区名	H12-H22
中央	-10.7%
豊栄	-0.4%
須賀	-2.3%
匝瑳	-13.6%
豊和	-14.2%
吉田	-10.6%
飯高	-14.0%
共興	-11.7%
平和	-4.6%
椿海	1.1%
野田	-6.1%
栄	-9.4%
市全体計	-7.1%

資料：住民基本台帳

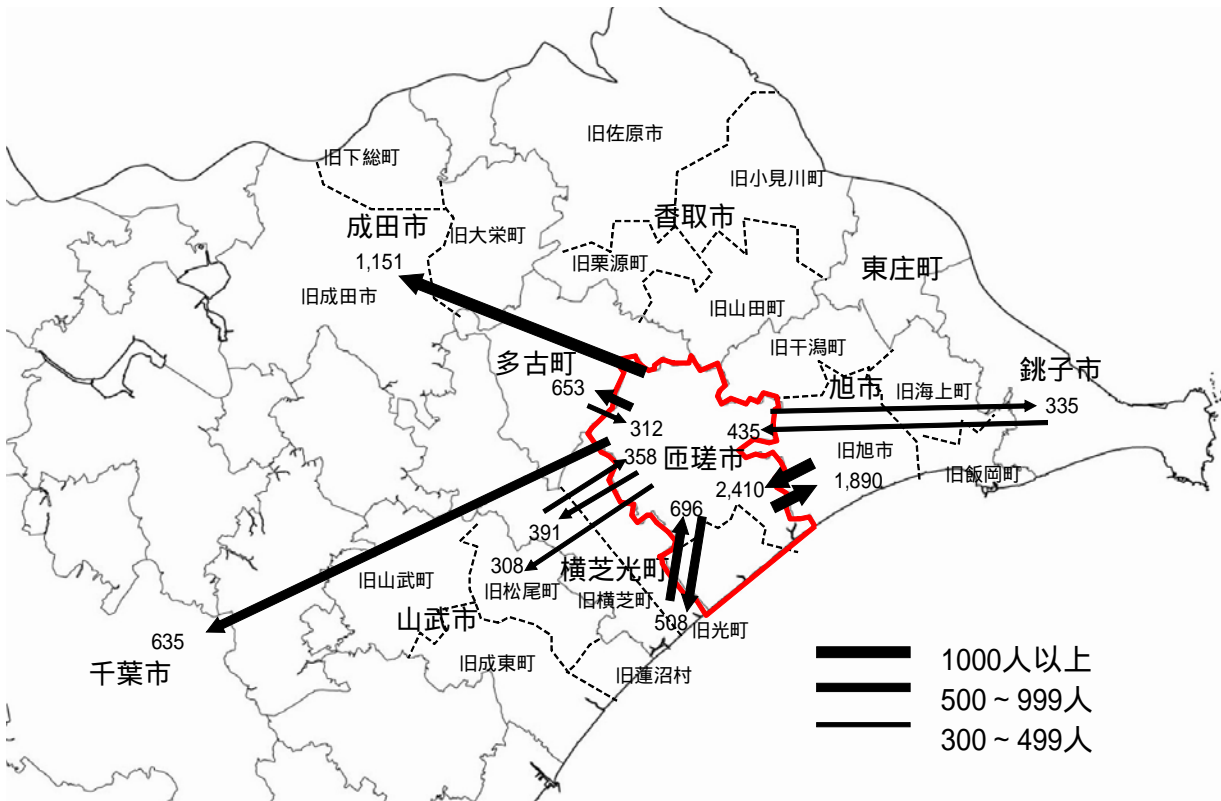
図 地区別人口増減率

(3) 人口流動(通勤)

- ・平成17年現在、匝瑳市全体では、流出8,315人、流入6,087人となっており、2,228人の流出超過となっています。
- ・流入先第1位は、隣接する旧旭市2,410人であり、次いで旧光町696人、銚子市435人となっています。
- ・流出先第1位は、隣接する旧旭市1,890人であり、次いで旧成田市1,151人となっています。
- ・市内に常住する就業者数は、20,662人であり、このうち12,347人(59.8%)が市内に、また、8,315人が市外・県外に通勤しています。
- ・市外・県外から6,087人が市内に通勤しています。



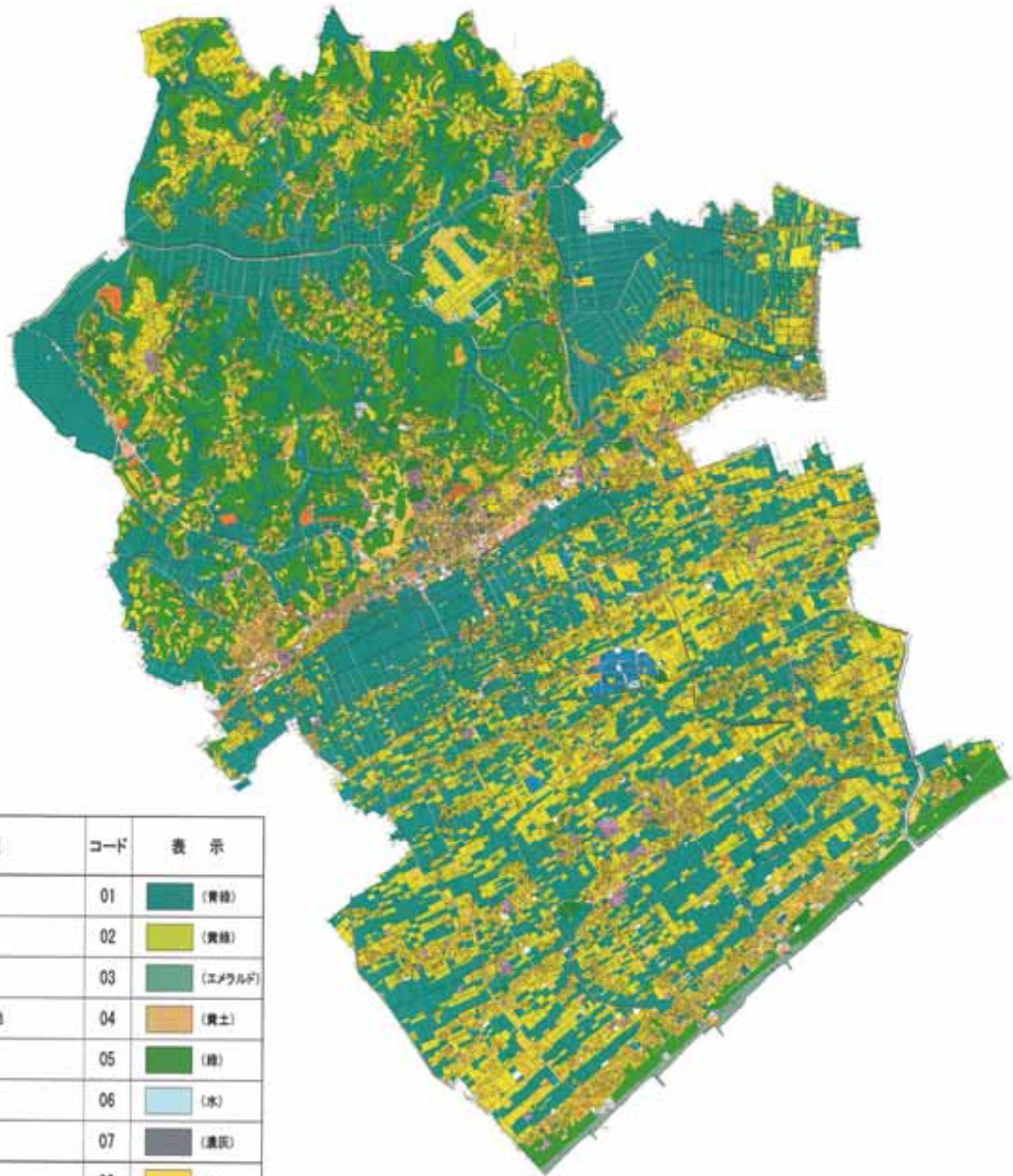
資料：H17 国勢調査



3 . 土地利用

(1) 土地利用

- ・平成 21 年における地目別の土地利用状況は、宅地 10.4%、田 34.7%、畑 21.3%、山林 9.8%となっており、田と畑をあわせた農地は約 56%と市域の半分以上を占めています。



土地利用分類		コード	表示	
自然的 土地利用	田(水田)	01	(青緑)	
	畑(雑・果樹園)	02	(黄緑)	
	採草放牧地	03	(エメラルド)	
	荒地・耕作放棄地・低湿地	04	(黄土)	
	山林	05	(緑)	
	河川・水渠・水路	06	(水)	
	海浜・河川敷	07	(濃灰)	
都市的 土地利用	住宅用地(住宅・共同住宅)	08	(黄)	
	商業用地【業務施設・商業施設・宿泊施設・遊技施設・娯楽施設】	09	(桃)	
	工業用地【工場】	10	(黄)	
	運輸施設用地【飛行場・港湾・倉庫】	11	(群青)	
	公共用地【官庁・供給施設】	12	(薄紫)	
	文教・厚生用地【学校・病院・図書館・神社】	13	(紫)	
	オープンスペースA【都市公園・広場・運動場・墓園等の公園緑地】	141	(深緑)	
	オープンスペースB【ゴルフ場等のレクリエーション施設用地】	142	(薄紫)	
	その他 の空地	未建築宅地(造成完了)	15	(黄)
		用途改変中の土地(造成中)	16	(赤紫)
		屋外利用地【駐車場・資材置場等】	17	(灰)
		防衛用地【自衛隊・米軍提供施設】	18	(濃青)
		道路用地【幅員4m以上の道路・農道・林道・駅前広場】	19	(白)
鉄道用地	20	(赤紫)		

図 土地利用現況図(都市計画基礎調査)

表 地目別面積

区分	H16		H21		H21/H16 伸び率
	地積(ha)	構成比(%)	地積(ha)	構成比(%)	
総面積	10,178.0	100.0	10,178.0	100.0	1.00
田	3,592.0	35.3	3,528.0	34.7	0.98
畑	2,161.1	21.2	2,169.0	21.3	1.00
宅地	1,004.8	9.9	1,053.9	10.4	1.05
池沼	4.8	0.0	4.4	0.0	0.92
山林	1,008.3	9.9	1,001.6	9.8	0.99
原野	117.0	1.1	109.2	1.1	0.93
雑種地	255.6	2.5	269.3	2.6	1.05
その他	2,034.1	20.0	2,042.6	20.1	1.00

資料：固定資産概要調書

(2) 農業振興地域

- 市域面積のうち、用途地域を除いて農業振興地域に指定されており、そのうち、既存集落や丘陵地以外の大部分が農用地区域となっています。農用地区域は、農業以外への土地利用が制限されています。

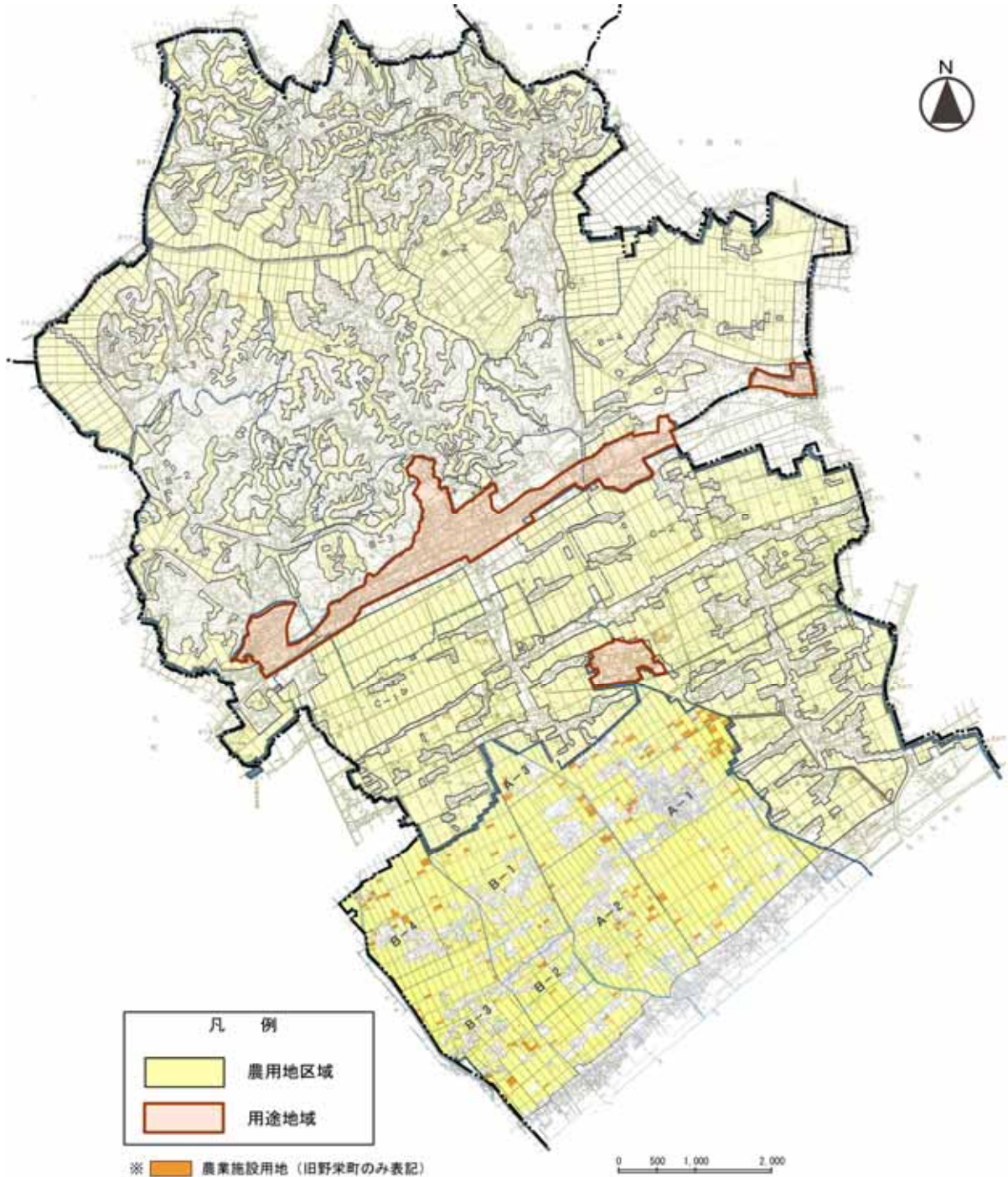


図 農用地区域

上記図面は、旧八日市場市、旧野栄町の農業振興地域整備計画における土地利用計画図を暫定的に張り合わせたもの。

なお、平成 21、22 年度で合併後の農業振興地域整備計画の見直しを実施している。

4. 産業

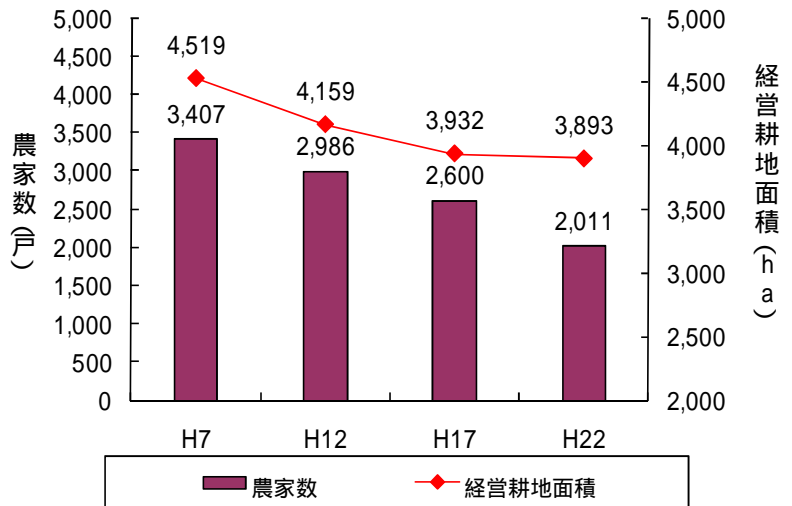
(1) 農業

- ・平成18年の農業粗生産額は、全体で140.9億円であり、特に「種苗・苗木類・その他」については、22億円(15.7%)と全国でも有数の生産額となっています。
- ・農家数、耕地面積のいずれも減少傾向となっています。

表 農業粗生産額 H18.2.1現在

区分	実額 (百万円)	構成比 (%)
総数	14,090	100
耕種 小計	9,100	64.7
米	3,620	25.7
麦類	-	-
雑穀・豆类	110	0.8
いも類	100	0.7
野菜	2,570	18.3
果実	0	0
種花き	340	2.4
工芸農作物	160	1.1
種苗・苗木類・その他	2,200	15.7
畜産 小計	4,960	35.3
肉用牛	440	3.2
畜乳用牛 (うち生乳)	730	5.1
豚	1,620	11.6
にわとり (うち鶏卵)	2,080	14.8
その他畜産物	0	0

資料：千葉県生産農業所得統計
 工芸農作物とは、主に加工の原料を目的に栽培される作物で、葉たばこ、こんにゃくいも、薬用人参など



資料：農業センサス

図 農家数及び経営耕地面積

(2) 商業

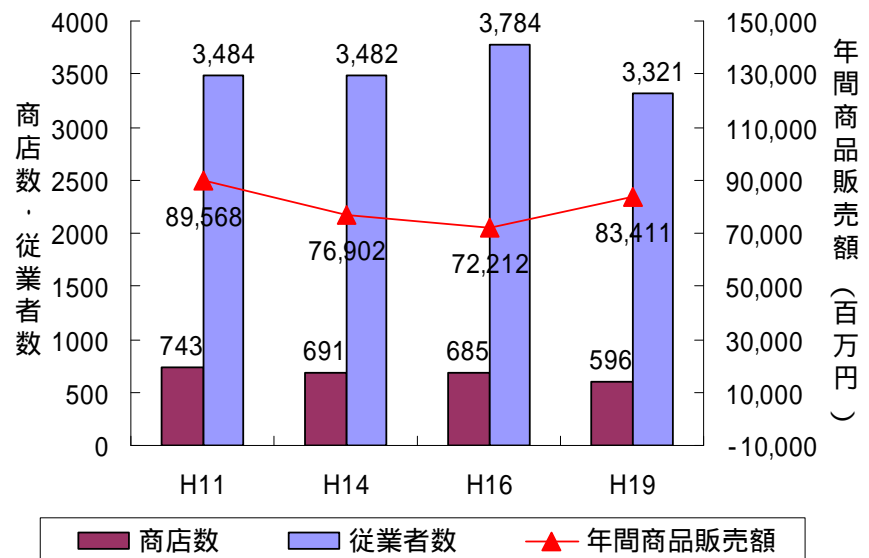
- ・商店数は減少傾向が続いており、平成11年の743店から平成19年には約2割減少し、596店となっています。
- ・平成19年における年間販売額は834億円となっており、平成16年の722億円から約112億円(15.5%)増加していますが、従業者数については、463人(12.2%)減少しています。



国道126号(バイパス)沿いの大型商業施設



旧国道沿いの商店街



資料：商業統計調査

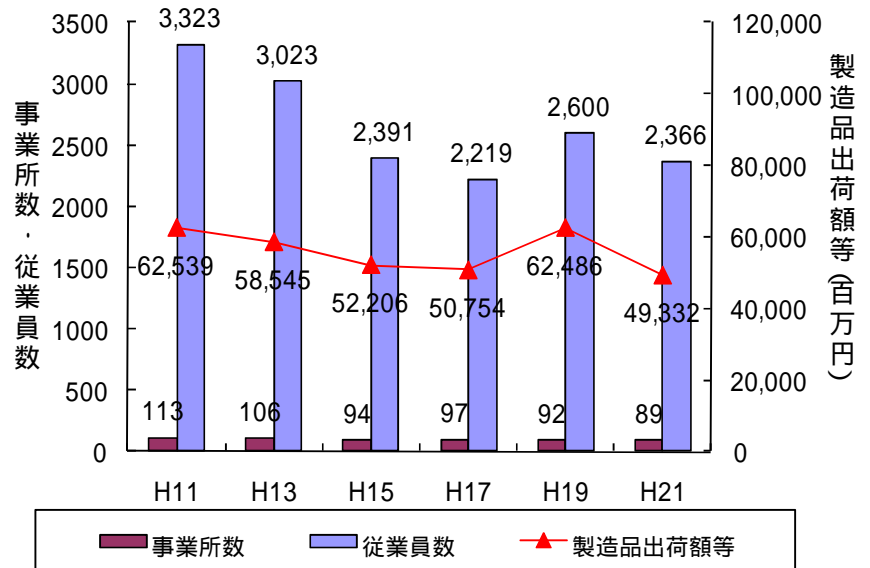
図 商店数・従業者数・年間販売額

(3) 工業

- ・ 製造品出荷額、従業員数のいずれも平成17年まで減少傾向が続き、平成19年に増加しましたが、平成21年では再び減少しています。
- ・ 市内には、みどり平工業団地があり、製造品出荷額に大きく寄与しています。



みどり平工業団地



資料：工業統計調査

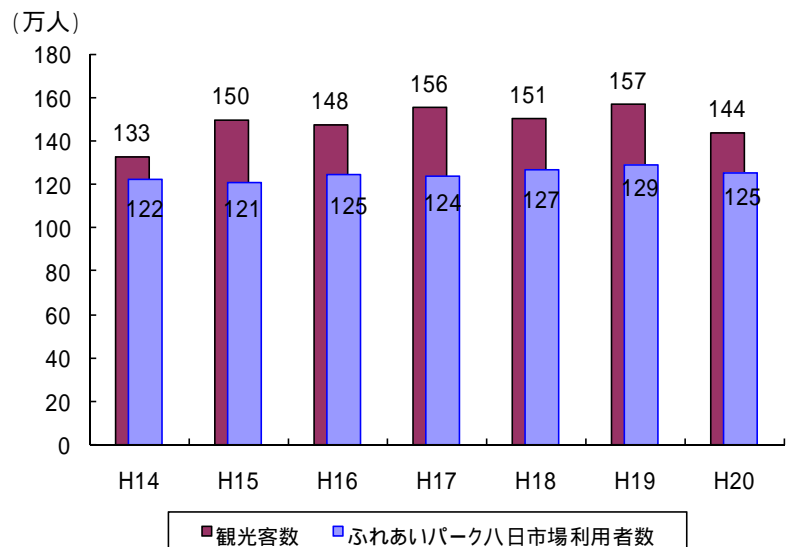
図 事業所数・従業員数・製造品出荷額

(4) 観光

- ・ 平成14年に「ふれあいパーク八日市場」が開設し、都市と農村の観光交流拠点として賑わっています。
- ・ 平成20年における市全体の観光客は144万人となっています。なお、「ふれあいパーク八日市場」の入場者数は同年125万人であり、観光客の増加に寄与しています。



ふれあいパーク八日市場



資料：H21 千葉県統計年鑑（観光客数）

H21 統計そうさ（ふれあいパーク八日市場利用者数）

図 観光客の推移

5 . 交通体系

(1) 道路

主要道路の交通量

- ・交通量は、東西の広域軸となっている国道 126 号で、17,793 台（平日 12 時間）と最も多く、朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しています。次に交通量が多いのは、成田空港との幹線軸である国道 296 号（11,373 台）となっています。

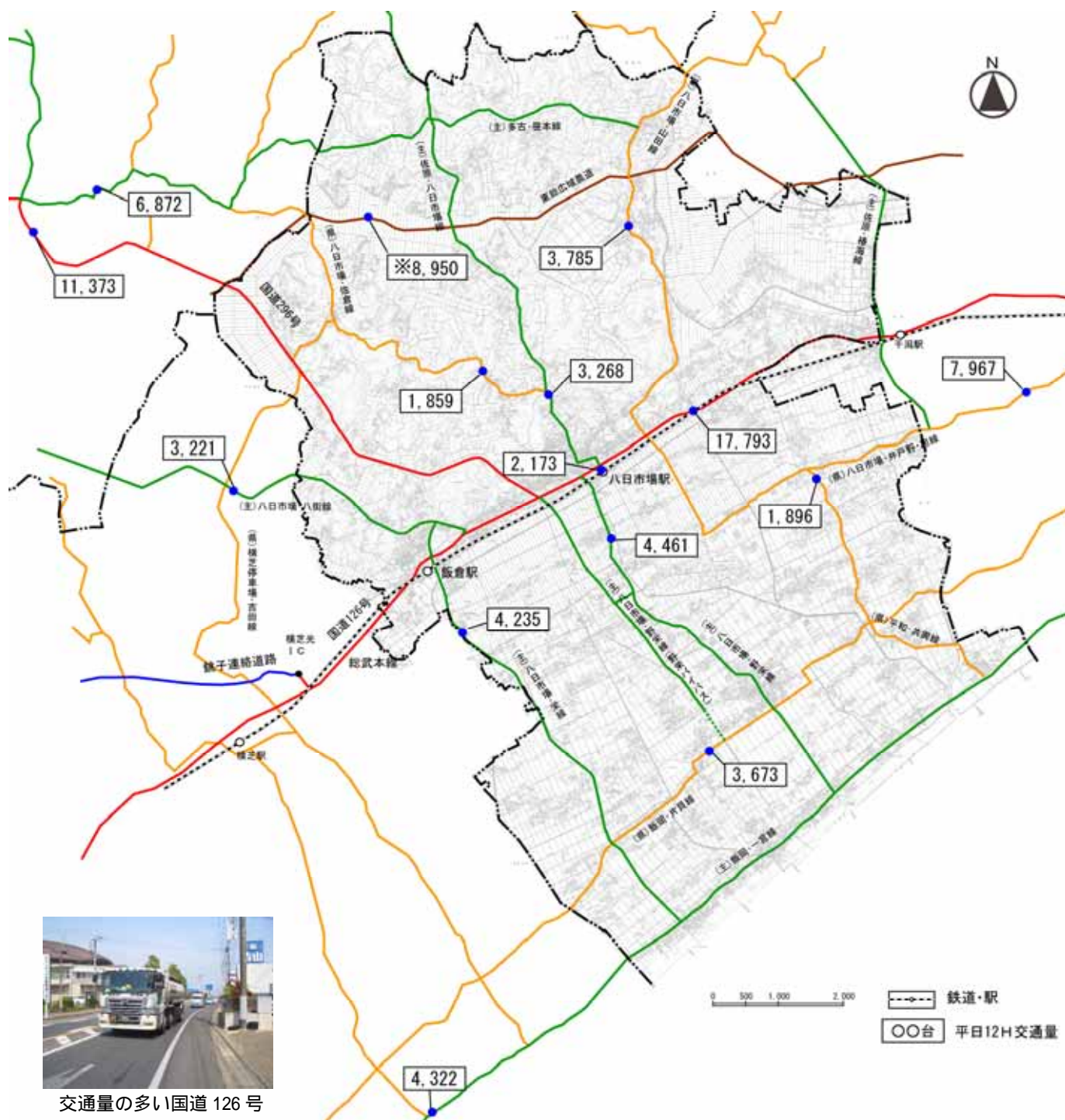


図 主要道路の交通量及び混雑度

資料：H17年交通センサス調査
 東総広域農道の交通量は、平成18年度における東総地区
 広域道路運営協議会の調査

道路整備状況

- ・市内の道路網として、国道2路線、主要地方道9路線、一般県道7路線、市道2,399路線によって構成され、平成20年における改良率は、国道(100%)、主要地方道(99%)、一般県道(95.7%)、市道(55.8%)となっています。

表 道路整備状況

道路整備状況		平成21年4月1日現在		
区分	路線数	実延長(m)	改良済延長(m)	改良率(%)
国道	2	15,447	15,447	100.0
主要地方道	9	40,757	40,350	99.0
一般県道	7	30,002	28,699	95.7
市道	2,399	913,815	509,935	55.8

(資料：H21統計そうさ(千葉県海匝地域整備センター、建設課))

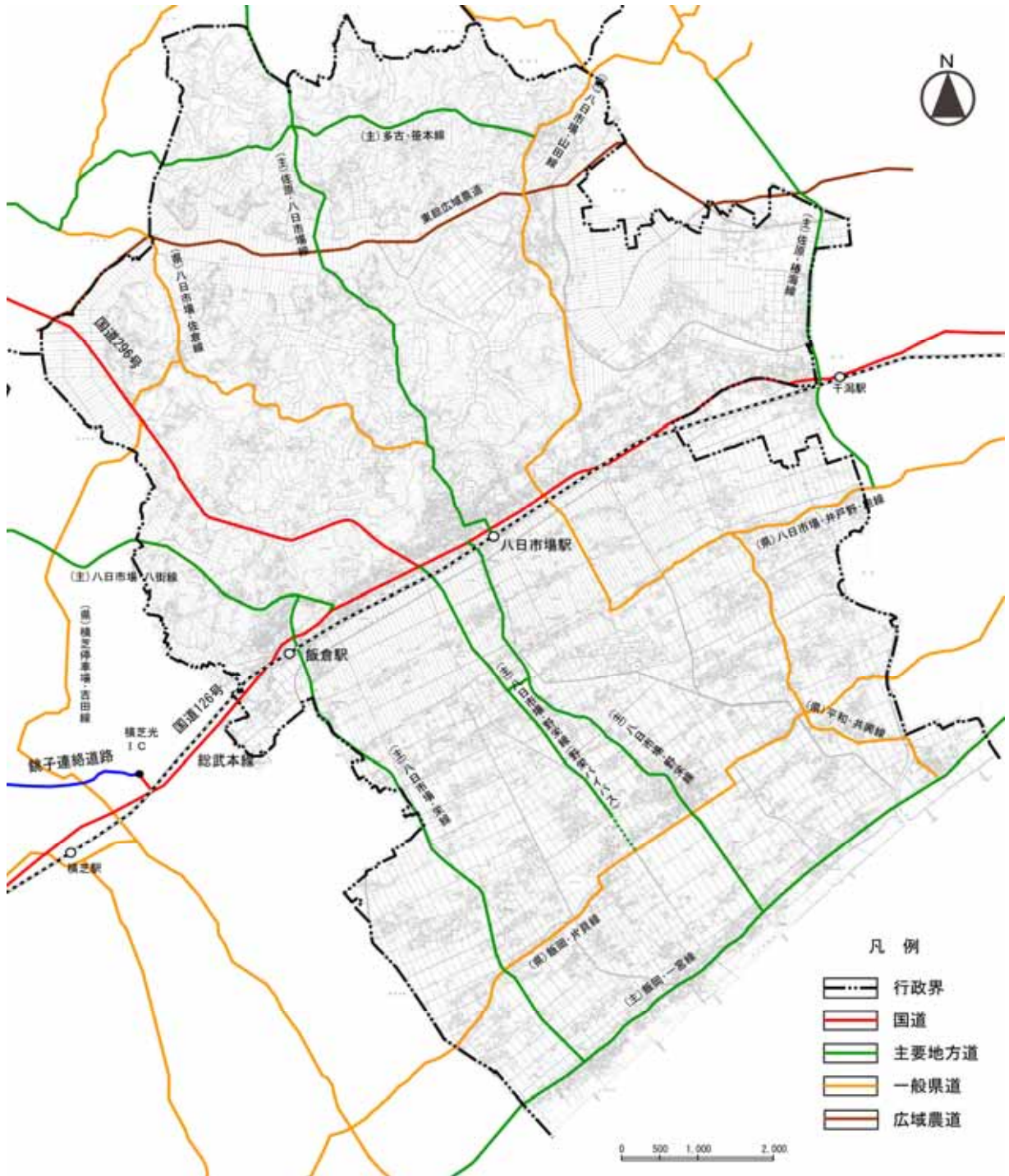


図 現況道路網

都市計画道路

- 都市計画道路は、平成 19 年 3 月末現在、銚子連絡道路を含めて 9 路線が計画決定しており、計画延長 16.69 kmのうち、26%の 4.41 kmが改良済み（千葉県では 50%が改良済み）となっています。



図 都市計画道路

(2) 公共交通

鉄道駅の1日平均乗車人員

- ・鉄道は、国道126号と平行してJR総武本線が市内を東西に走っています。
- ・平成20年現在の1日平均乗車人員は、JR八日市場駅2,039人となっています。
- ・JR八日市場駅の乗車人員は年々減少しており、平成20年現在では、平成13年比で0.89となっています。しかし、近隣のJR横芝駅(横芝光町)に比べ減少傾向は小さくなっています。



JR 八日市場駅



JR 飯倉駅

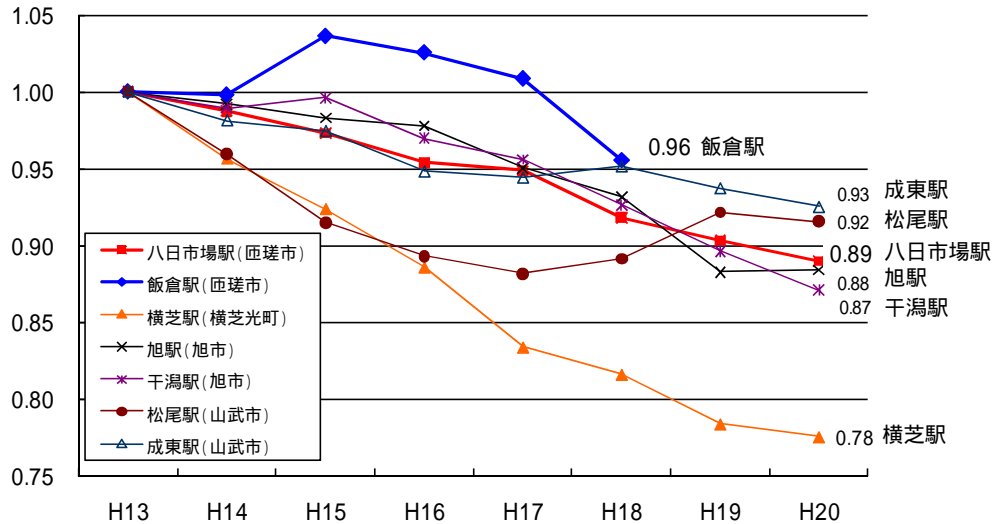


図 1日平均乗車人員の推移 資料：千葉県統計年鑑
飯倉駅は無人のためH19より公表なし

表 1日平均乗車人員の推移

	単位:人							
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
八日市場駅(匝瑳市)	2,292	2,263	2,230	2,186	2,174	2,104	2,070	2,039
飯倉駅(匝瑳市)	470	469	487	482	474	449		
横芝駅(横芝光町)	1,921	1,837	1,774	1,701	1,601	1,567	1,505	1,489
旭駅(旭市)	2,265	2,247	2,226	2,214	2,152	2,110	1,999	2,002
干潟駅(旭市)	1,059	1,048	1,055	1,027	1,012	981	949	922
松尾駅(山武市)	1,232	1,182	1,127	1,100	1,086	1,098	1,135	1,128
成東駅(山武市)	3,313	3,251	3,228	3,141	3,128	3,152	3,105	3,065

資料：千葉県統計年鑑

市内循環バス

- ・市民病院、市役所、JR八日市場駅、JR飯倉駅等を起点として市内各路線1日6便運行しています。
- ・基本運賃は、1回の乗車につき200円の均一運賃です。
- ・利用者数は、ほぼ横ばいであり、1便当たりの乗車人数は8人~11人程度です。

路線バス

- ・JRバス多古本線(JR八日市場駅~多古~三里塚~JR成田駅)の1路線が運行されています。

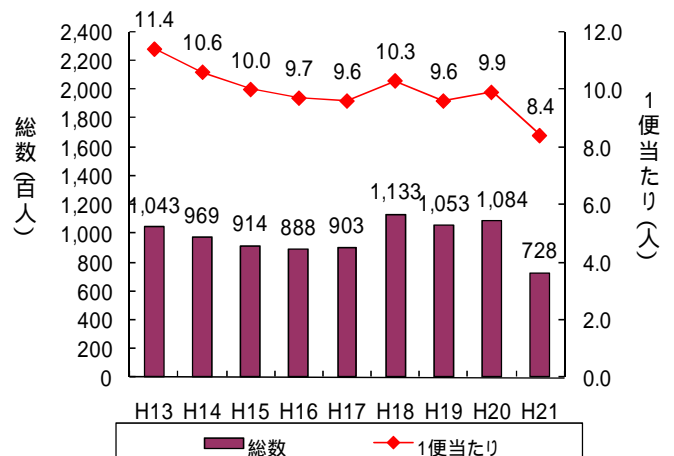
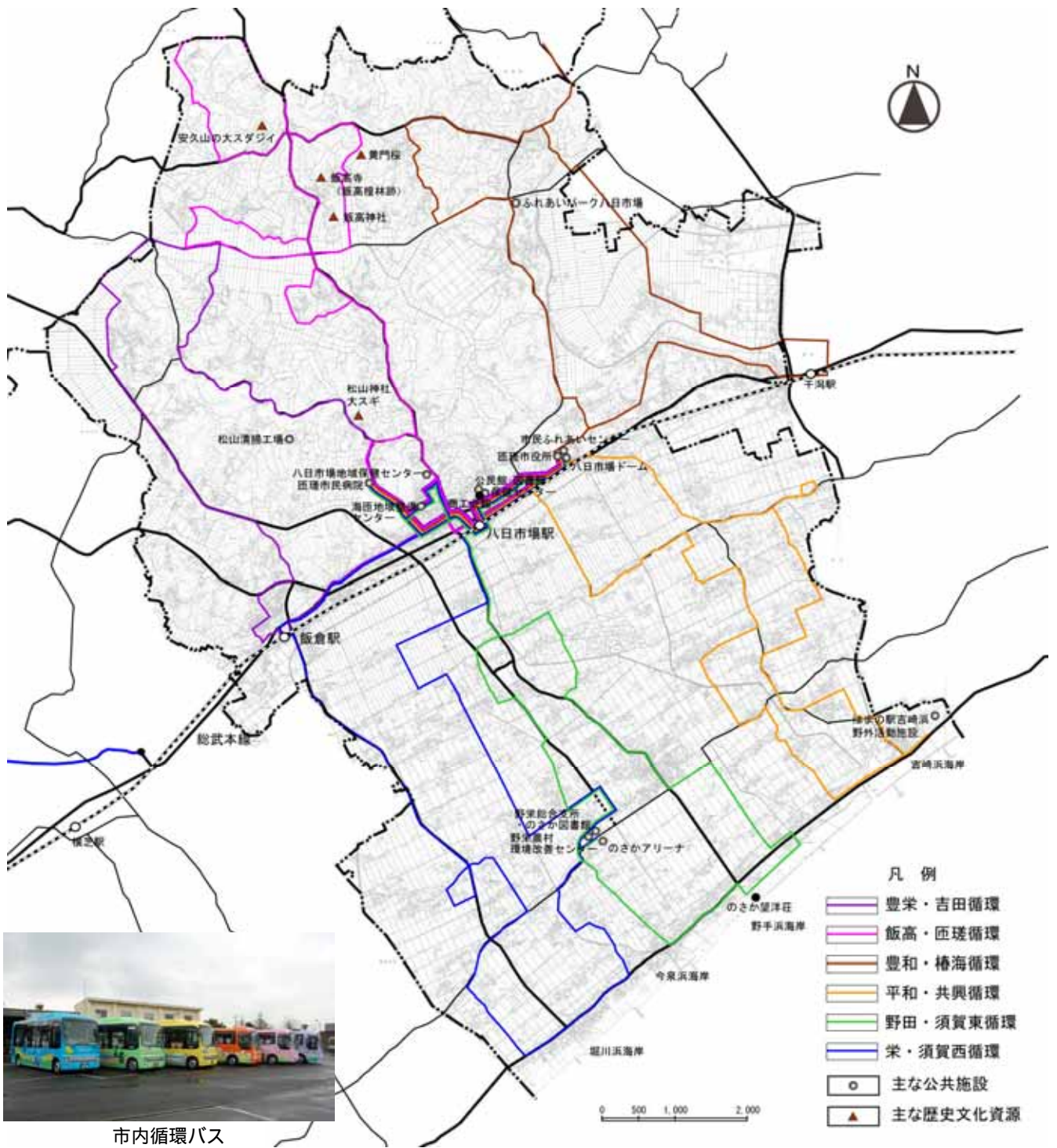


図 市内循環バスの利用状況

市内循環バス（路線図）



市内循環バス

図 バス路線（市内循環バス路線図）

高速バス

- ・高速バスは、現在2路線が運行されており、市役所前から東京までの所要時間は、約2時間となっています。

表 高速バスの運行状況

路線	停車場	所要時間	便数	料金	事業者名
銚子 千葉・幕張新都心線	匝瑳市役所 幕張地区	約1時間半	1往復/日	1,400円	千葉交通
八日市場 東京駅線	匝瑳市役所 東京駅	約2時間	3往復/日	2,030円	千葉交通
			5往復/日		JRバス関東

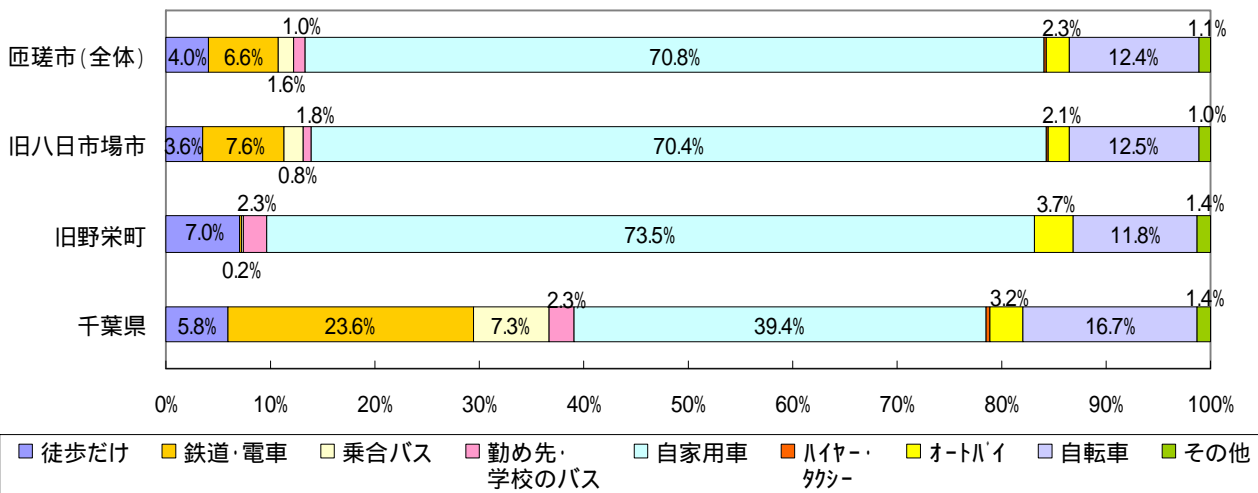
(資料: 千葉交通(株)、JRバス関東(株)ホームページ)

利用交通手段(代表交通)

- ・利用交通手段は、自家用車の利用が匝瑳市全体で7割の利用率となっており、千葉県全体(約4割)と比較しても、自家用車への依存が高くなっています。
- ・鉄道、バスの利用は、匝瑳市全体で合計しても約1割と低い利用率になっています。

表 利用交通手段の分担率(代表交通)

	徒歩だけ	鉄道・電車	乗合バス	勤め先・学校のバス	自家用車	ハイヤー・タクシー	オートバイ	自転車	その他
匝瑳市(全体)	4.0%	6.6%	1.6%	1.0%	70.8%	0.1%	2.3%	12.4%	1.1%
旧八日市場市	3.6%	7.6%	1.8%	0.8%	70.4%	0.1%	2.1%	12.5%	1.0%
旧野栄町	7.0%	0.2%	0.2%	2.3%	73.5%	0.0%	3.7%	11.8%	1.4%
千葉県	5.8%	23.6%	7.3%	2.3%	39.4%	0.4%	3.2%	16.7%	1.4%



資料: H12 国勢調査

図 利用交通手段の分担率(代表交通)

6. 都市環境

(1) 公園

- ・都市公園として、街区公園9箇所、近隣公園2箇所、地区公園1箇所が指定されています。
- ・都市公園以外の公園として、「野栄ふれあい公園」が整備されています。
- ・その他に、児童遊園が12箇所整備されています。

表 都市公園

区分	番号	名称	設置年月日	面積(ha)	住所
街区	2・2・1	若潮公園	S51.4.1	0.26	若潮町2・1
	2・2・2	天神山下公園	S55.2.1	0.15	八日市場イ2330
	2・2・3	椿海公園	S56.6.26	0.28	椿969-1
	2・2・4	みどり平西公園	S57.11.9	0.14	みどり平1-2
		みどり平中公園	S57.11.9	0.04	みどり平9-2
	2・2・5	平和東公園	H1.4.1	0.64	平木1487-1
		小舟内公園	H2.8.1	0.01	蕪里139-27
	2・2・6	平台公園	H8.3.31	0.32	飯倉台17
	鈴歌公園	H6.4.1	0.76	飯倉台37-1	
近隣	3・3・1	みどり平東公園	S57.11.9	1.08	みどり平13-2
	3・3・2	山桑公園	S59.3.30	3.29	山桑125
地区	4・4・1	天神山公園	H15.4.1	6.35	八日市場イ地先

表 都市公園以外の公園

名称	設置年月日	面積(ha)	住所
野栄ふれあい公園	H17.10.1	5.26	今泉363

資料：匝瑳市

(2) 上・下水道

- ・上水道の普及率は、平成20年度末現在、80.1%となっています。(八匠水道企業団の資料による)
- ・公共下水道は整備されていませんが、平成2年度から合併処理浄化槽の設置者に対する助成を行い、平成20年度末の合併処理浄化槽の普及率は35.6%となっています。

7. 景観

- ・本市は、「九十九里平野と下総台地」の恵まれた自然環境を有しており、貴重な環境資源として住民に親しまれています。
- ・北部は、里山や谷津田の美しい自然景観が多く残されています。
- ・南部は、平坦地で美しい田園が広がり、植木栽培を反映して、植木畑も数多く分布しています。また、九十九里浜には飛砂を防ぐために海岸に沿ってクロマツ林と白砂青松の美しい海岸が続いています。



飯高寺（総門）



クロマツ林



九十九里浜
(野手浜海岸)

主要施設の分布状況



図 主要施設の分布状況

1-2 主要課題の整理

1. 市民意向調査の課題及び要望の整理

(1) 匠瑳市総合計画 市民意識調査 産業・経済について

項目	設問	主な回答
自慢したいこと	匠瑳市について自慢したいことは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然の豊かさや風景の美しさ」57.4% ・「祭りや風習、伝統文化など」51.2%
農林水産業振興	匠瑳市の農林水産業振興への取組みで、何が最も重要だと考えますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「担い手を育成」60.2% ・「地産地消を推進」39.0% ・「生産性を向上」33.7%
商工業振興	主にどこで日常生活の買い物を行いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「市内の大規模店舗」67.1% ・「市内の商店街」15.0% ・「県内の他市町」15.0%
	匠瑳市の商工業振興への取組みで、何が最も重要だと考えますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「利便性の高い商業拠点」54.1% ・「地域と連携した活動」34.5% ・「優良企業の積極的な誘致」34.3% ・「農林水産業や観光など他分野との連携」34.3%
観光振興	匠瑳市の観光振興への取組みで、何が最も重要だと考えますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光施設の整備」52.7% (レクリエーション施設や自然を楽しむ施設など) ・「地域文化を生かしたイベントの充実」40.1% ・「観光客の受け入れ体制の推進」38.7% ・「農林水産業や商工業など他分野との連携」37.4%

生活環境について

項目	設問	主な回答
住環境	匠瑳市は、快適に生活できる住環境であると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「まあ、そう思う」57.9% ・「あまりそう思わない」29.7% ・「とてもそう思う」5.6%
	あなたにとって住みやすい住環境とはどのような環境ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「交通安全施設や防犯・防災体制がしっかりしている安全な環境」45.2% ・「緑の保全や里山の保護など自然環境と調和した環境」39.5% ・「道路や上下水道などの都市基盤が十分に整備されている環境」35.5%
安全なまちづくり	匠瑳市の安全なまちづくりへの取組みで、何が最も重要だと考えますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「的確な情報提供や緊急時の体制を強化」58.9% ・「災害を未然に防ぐための防災基盤の整備」48.2% ・「関係機関(警察、各種協会など)との連携を強化」28.3%
自然環境保全	匠瑳市の自然環境保護への取組みで、何が最も重要だと考えますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「不法投棄をなくす」49.7% ・「豊かな自然環境を壊さない土地利用」42.9% ・「排水処理設備の計画的な整備」34.4% ・「ごみ対策」31.5%

市民との協働について

項目	設問	主な回答
市民との協働	市民と行政が協働して新しいまちづくりを進める取組みで、何が最も重要だと考えますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民・地域の意見を聞く機会の充実」55.4% ・「市の施策・事業に関する情報を積極的な公開」53.7% ・「地域活動の拠点の充実」30.4%

2. 都市づくりの主要課題

本市をとりまく状況の変化や現況を踏まえた都市づくりの主要課題を次のように設定します。

(1) まちづくり全般の課題

- ・人口減少、少子高齢化社会への対応
- ・女性や若者が安心して働ける雇用の創出と都市生活の魅力づくりによる若者の人口流出の抑制
- ・新市として一体感の感じられる市民と行政の協働によるまちづくり
- ・誰もが安心して暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり
- ・公共交通の充実、幹線道路網整備、農業・植木生産を生かした観光振興による交流人口の増加
- ・学区再編と学校統合など、少子化に対応した教育環境づくり

(2) 市街地の土地利用の課題（主に用途地域内）

- ・JR 八日市場駅周辺を中心に国道 126 号沿線に形成された市街地と JR 飯倉駅周辺の両駅を核とした都市機能の集積による拠点整備
- ・みどり平工業団地を核とした企業立地の促進と工業環境の整備・保全
- ・国道 126 号の沿道型大型商業施設立地への適正な土地利用
- ・用途地域内の高い人口減少率による空洞化と用途地域外への市街地の分散化

(3) 市街地周辺の土地利用に関する課題（用途地域以外）

- ・銚子連絡道路の整備による幹線道路との結節点周辺（IC）における新たな都市機能の整備
- ・銚子連絡道路等の交通体系の形成に併せた新たな物流機能の集積による拠点整備
- ・都市計画区域見直しなどにより、地域の個性を生かした秩序ある市街地整備の検討
- ・海岸線周辺の住宅地における狭あい道路の改善

(4) 交通体系に関する課題（道路・公共交通）

- ・市街地中心部を東西に横断する国道 126 号の慢性的な交通渋滞の解消
- ・銚子連絡道路の整備促進と市内幹線道路の整備による交通流の円滑化及び各地域と市街地をつなぐ交通ネットワーク化
- ・都市計画道路網の見直し検討
- ・安心安全で快適な歩行者・自転車の道路空間の整備
- ・鉄道やバスの運行強化とバリアフリー化の促進
- ・循環バスの運行による日常生活の移動手手段の確保

(5) 都市環境に関する課題

- ・合併処理浄化槽の設置促進
- ・公共下水道事業の市民への需要調査などを踏まえた検討
- ・既設公園の維持管理と整備拡充
- ・本市の特性を生かした住民参加による緑化（道路沿道、生け垣等）の推進
- ・公共施設の耐震化による防災拠点の強化

(6) 景観に関する課題

- ・九十九里浜、里山、田園等の恵まれた自然環境・景観の保全と活用
- ・不法投棄の防止対策の強化